特集

今すぐ実践!

洗練された英文が書ける10のポイント

英文を書くとき、どうしても日本語に引っ張られた直訳調になったり、文が冗長になって しまったりすることがあります。 今回は、より洗練された文を書けるようになる、「10の ポイント」 をご紹介します。 1つでも多くのポイントを意識することで、スマートライティ ングを目指していきましょう!

編集: 竹本庸二

執筆:鈴木瑛子(すずき・ようこ)

東京海洋大学 グローバル教育研究推進機構 特任准教授。

翻訳家を経て、ワシントンD.C.ジョンズホプキンス大学にてコミュニケーション学専攻、修士号 (M.A.) を取得。現在は、東京海洋大学にて、TOEIC®L&Rを中心とした英語資格試験関連教育プログラムの管理運営にあたる。著書に『TOEFL iBT®テスト 必修フレーズ100』(テイエス企画)、『論理的に話す・書くための英語変換術』(三修社)など多数。



"時"や"場所"を主語に

英文の冒頭や結びでよく使われるテクニックの1つに、「時 | や 「場所 | を主語にする用法があります。 文全 体がより客観的になり、レポートやエッセーにふさわしい響きになります。 people やwe のように 「人」 の イメージを挟むことなく、本題へスムーズに移行できます。

20世紀に私たちは医学において劇的な進歩を遂げ た。

- △ We made dramatic progress in medicine in the 20th century.
 - ↓ 見た= saw を使って
- O The 20th century saw dramatic progress in medicine.

weを主語にすると「人類が進歩を作った」となり、一体感が出ま す。一方、the 20th centuryを主語にすると「時代が進歩を見た」 と、客観的でより高い視座から見た文になります。 progress は数 えられない名詞で、"a progress" とはならない点に要注意です。

日本では急速に高齢化が進んでいる。

- △ In Japan, people are getting old rapidly.
 - ↓ 経験している = is experiencingを使って
- O Japan is experiencing rapid aging.

peopleを主語にすると「人々が年を取っている」という、人に焦点 を当てた表現になってしまいます。主語は、焦点が「国」なら Japan、その「社会」なら Japanese society にすると、情報が整 理され、その後のトピックが伝わりやすくなります。

お顕3

近年、AIの著しい発展が起こった。

- △ Remarkable developments of AI have happened in recent years.
 - ↓ もたらしてきた= have broughtを使って
- O Recent years have brought remarkable developments in AI.

「起こった」の訳にはhappenedを使いがちです。recent years を主語にすると、出来事の説明ではなく、時代の流れや背景が強 調されます。brought (bring) を使うと「時代が…をもたらした」 という比喩的な表現になり、文章に深みが加わります。

インドでは、貿易の機会がたくさん得られる。

- △ You can get many opportunities for trade in India.
 - 【 提供する= offerを使って
- India offers many opportunities for trade.

主語がyouの文は、文字通りでは読み手への直接的な呼びかけで あり、訴求性が高いため広告などで好まれますが、やや押しつけが ましく響くこともあります。対してIndia offers...とすると、より中 立的な表現になります。「場所」を主語にすることで、本題である貿 易の機会に自然に導く効果があります。



お題5

2024年にはいくつかの深刻な国際的紛争があった。

- △ In 2024, there were some serious alobal conflicts.
 - ↓ 目撃した= witnessedを使って
- O The year 2024 witnessed a number of serious global conflicts.

「あった」はthere was/wereを使いがちですが、The year 2024 witnessed...と書くと「年そのものが出来事を目撃した」と、時代 感や客観性を強調できます。 some はやや漠然とした表現である ため、a number of などを使うとよりフォーマルにまとまります。